

農業経営収入保険 事故発生等通知書

(年 (年度))

回目

令和 年 月 日

全国農業共済組合連合会会長理事 殿

加入者 住所
氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 印

加入者管理コード

[受付年月日: 令和 年 月 日]

(1)事故発生の通知

発生年月日			通知対象事故の概況			農産物又は畜産物			作付面積等の合計		農産物又は畜産物の数量減少の程度等		
年	月	日	事故の種類	事故の発生時期	収入減少が見込まれる時期	種類	品目	用途	作付面積等の合計 a、kg、頭等	作付面積等の特定 a、kg、頭等	数量減少の程度	左記の割合に該当する 作付面積等の合計 (減少数量)	
			<input type="checkbox"/> 気象災害 <input type="checkbox"/> 病虫害 <input type="checkbox"/> 鳥獣害 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 収穫までの事故 <input type="checkbox"/> 収穫後の事故 (備考)	<input type="checkbox"/> 保険期間の収入減少 <input type="checkbox"/> 翌年(年度)以降の収入減少 (年)						10%未満・被害なし		
												10%以上～50%未満	
												50%以上～100%未満	
												100%	
			<input type="checkbox"/> 気象災害 <input type="checkbox"/> 病虫害 <input type="checkbox"/> 鳥獣害 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 収穫までの事故 <input type="checkbox"/> 収穫後の事故 (備考)	<input type="checkbox"/> 保険期間の収入減少 <input type="checkbox"/> 翌年(年度)以降の収入減少 (年)						10%未満・被害なし		
												10%以上～50%未満	
												50%以上～100%未満	
												100%	

○ 保険事故防止の取組内容 ※発生した事故に関して、これまで行った保険事故防止の取組内容を記載します。

(根拠書類:)

○ 事故発生後に行う保険事故防止の取組内容

【全国連合会の指導事項】

(2)つなぎ資金の貸付けの希望の有無(いずれかに○をしてください。)

希望する 希望しない

(3)自己都合による栽培又は飼養の中止の通知

栽培又は飼養 中止年月日			農産物又は畜産物			該当場所	
年	月	日	種類	品目	用途	所在地	作付面積 (a、kg、頭等)

<記入上の注意>

(1)事故発生の通知

- 「発生年月日」欄は、通知対象事故が発生した年月日を記入します。発生した年月日が不明な場合は、収量減少が確認できた年月日を記入します。
- 「通知対象事故の概況」欄の各欄は、事故の種類、事故の発生時期、収入減少が見込まれる時期について、それぞれ該当する□に✓を記入してください。
また「備考」欄は、事故が発生した農産物の生育ステージ、具体的な事故の内容(台風、大雨、日照不足等)、事故による農産物の状況(倒伏、水没、生育不良等)等を記入してください(例:収穫期に、台風により倒伏した。)
- 「農産物又は畜産物」欄は、「農業経営に関する計画」(様式4号)の「(1)保険期間の営農計画」に記入した農産物又は畜産物を記入します。
- 「作付面積等の合計」欄は、「農業経営に関する計画」(様式4号)の「(2)保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額」に記入した作付予定面積等(C)を記入します。
ただし、収穫後の農産物、ポット出荷作物、畜産物等については、「農業経営に関する計画」(様式4号)の「(2)保険期間の営農計画に基づく保険期間中に見込まれる農業収入金額」に記入した期首の見込在庫数量(A)と保険期間の見込収穫数量等の数量等(E)を合計した値を記入します。
なお、収穫後の農産物及び保険期間中に2回以上生産・出荷する農産物等については、「作付面積等の特定」欄に、事故発生時点で有する収穫後の農産物等の数量又は事故発生時点で栽培若しくは飼養する農産物等の数量若しくは頭数、面積を記入することが可能です。この場合、この数字を用いて、「左記の割合に該当する作付面積等の合計(減少数量)」欄の該当箇所に作付面積又は減少数量を記入します。
- 「農産物又は畜産物の数量減少の程度等」欄は、ほ場等の状況を目視により確認した「数量減少の程度」ごとに、数量減少が見込まれるほ場を含めた全ての作付面積を記入します。なお、記入に当たりそれぞれ該当する値の単位を記入してください。
収穫後の農産物、ポット出荷作物、畜産物等については、次の式で求めた割合に該当する「数量減少の程度」欄の右欄に、減少数量を記入します。

$$\text{減少数量} \div \text{「作付面積又は数量の合計」} \times 100$$
 数量減少の程度の考え方は以下のとおりです。
 - 「10%未満・被害なし」: 収穫又は出荷量の減少見込が10%未満にとどまる又は被害がないと考えられる場合
 - 「10%以上～50%未満」: 収穫又は出荷量の減少見込が50%未満と考えられる場合
 - 「50%以上～100%未満」: 収穫又は出荷量の減少見込が50%以上100%未満と考えられる場合
 - 「100%」: 収穫又は出荷が見込まれないと考えられる場合
- 「保険事故防止の取組内容」欄は、発生した事故に関して、発生以前に行った保険事故防止の取組内容を記入し、その取組内容が確認できる書類名を記入します。(例えば、病虫害の場合は、病虫害防除の取組状況を記入し、根拠書類としては農作業日誌などを記入します。)。なお、保険事故防止の取組が困難な事故の場合は、記入する必要はありません。
- 「事故発生後に行う保険事故防止の取組内容」欄は、事故発生後に行う保険事故防止のための取組があれば、その内容を記入します。
- 「全国連合会の指導事項」欄は、全国連合会が被保険者に対して行う保険事故防止に関する指導の内容が記載されます。

(2) つなぎ資金の貸付けの希望の有無

「つなぎ資金の貸付けの希望の有無」欄は、発生した事故による収入減少に対応して、つなぎ資金の貸付けを希望するか否かを選択します。つなぎ資金は、保険金等の支払いが見込まれる事故が発生した場合に申請するものです。貸付条件等については、保険者にお尋ねください。

(3) 自己都合による栽培又は飼養の中止の通知

1. 「栽培又は飼養中止年月日」欄は、農産物又は畜産物の栽培又は飼養の中止を決めた年月日を記入します。
2. 「農産物又は畜産物」欄は、「農業経営に関する計画」(様式4号)の「(1)保険期間の営農計画」に記入した農産物又は畜産物の種類等を記入します。
3. 「該当場所」欄の「所在地」欄は、栽培又は飼養を中止した耕地等の所在地、「作付面積」欄は農産物は栽培を中止した面積、畜産物は飼養を中止した頭羽数及び畜舎名を記入します。